

三河商人道

PART
208

青年部とは

「育てていただける所・勉強の場」



【会社・仕事への思い】

化粧品のみどりやとして、岡崎をはじめ5店舗展開しています。地域の女性がきれいになることをサポートすることを一番に考えています。自分自身が、まちづくりに関する事業にも取り組んでいる為、みどりやでは、スタッフの成長に心を配っています。目標設定や、責任を持たせてプライドを持って事業を運営していってもらえるようにしくみづくりを工夫しています。また、株式会社まちづくり岡崎の代表取締役社長を務めています。地域の仲間と共に持続可能なまちの活性化に取り組んでいます。

【青年部に入会されたきっかけ】

青年部に入会する前に、JC（岡崎青年会議所）で活動していましたが、先輩の紹介もあり、視野を広げる意味で入会することとしました。2007年の4月入会で、後述の講師をさせていただき経験も含め、地域振興の観点から、自身の事業とオーバーラップする活動もあり、青年部活動は有意義だと感じています。

【思い出に残る青年部活動】

平成25年度の12月例会で、「集まりたくなる街“岡崎”」に、講師を担当しました。当時、衆議院議員だった中根康浩先輩、愛知県議会議員の中根義高君、岡崎市議員の三浦康宏君とともに登壇し、青年部メンバーにこのような役の方々が揃っていて例会ができる素晴らしさを感じ、参加メンバーとともにまちづくりについて学ぶことができました。

【趣味など】

まさに、現在の活動にマッチしているのですが、まちづくりや、地域振興に生きがいを感じています。趣味という表現をすると違うイメージを持たれてしまうかもしれませんが、地元根付いた事業所の方々とともに、活性化していく過程に携わっていけるのが醍醐味ですし、ありがたいと感じています。また、父親に連れて行ってもらった事をきっかけに小さな頃から釣りが好きであり、昨年北海道の網走湖でのワカサギ釣りは楽しかったです。

【青年部とは・・・】

犠牲を払うことはどこか違うと感じています。家庭や人間関係を壊すこと、自身の事業所にマイナスの影響を与えること、そして自分自身が倒れてしまうこと、この3つは決して起こしてはならないことだと思います。先輩も含めて、メンバーの皆様と関わることで、自分自身を育てることができ、事業、人生など多岐にわたって勉強できる場所が商工会議所青年部だと考えています。



取材担当/
創生委員会

・松本展和・山口純一
・蜂須賀邦夫・深田賢之
・三浦康宏